

平成28年度 東京藝術大学

大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験 課題曲及び試験内容

（「専門試験」「音楽に関する基礎能力検査」）

（本冊子はこのページを含めて全24ページ）

※発表した課題曲等の内容について、電話等による問い合わせには応じません。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載します。

【 略 記 一 覧 】

専攻・声種・楽器名	略記	専攻・声種・楽器名	略記		
作曲	/	バロック声楽	BVo		
声楽	ソプラノ	S	バロックヴァイオリン	BVn	
	メゾ・ソプラノ	Ms	バロックチェロ	BVc	
	アルト	A	リコーダー	Rec	
	テノール	T	チェンバロ	Cemb	
	バリトン	Br	バロックオルガン	BOrg	
	バス	B	フォルテピアノ	FP	
楽器	ピアノ	Pf	指揮	/	
	オルガン	Org	邦楽	/	
	弦楽	ヴァイオリン	Vn	音楽学	/
		ヴァイオラ	Va	音楽教育	/
		チェロ	Vc	ソルフェージュ	/
		コントラバス	Cb	応用音楽学	/
		ハープ	Hp	音楽文芸	/
	木管	フルート	Fl	音楽音響創造	/
		オーボエ	Ob	芸術環境創造	/
		クラリネット	Cl		
		ファゴット	Fg		
	金管	サクソフーン	Sx		
		ホルン	Hr		
		トランペット	Tp		
		トロンボーン	Tb		
		ユーフォニアム	Euph		
	チューバ	Tu			
	打楽器	Pc			
室内楽	/				

●略記について●

1. 原則として2字以内にまとめた。
2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。
3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。

平成28年度「学生募集要項」の配布について

1. 配布時期 7月中旬
2. 配布方法（「募集要項」は無料）
 - (1) 本学での配布は、守衛所または音楽学部教務係で行います。
 - (2) 郵送による申し込みは、下記の要領で行って下さい。

記

申込用封筒（定型封筒で可）
[90×205mmまたは120×235mm]

返信用封筒（角型2号封筒）
[240mm×332mm]

〒110-8714
82円
切手
東京芸術大学音楽学部教務係
台東区上野公園12-8
平成28年度募集要項士請求

〒〇〇〇-〇〇〇〇
400円
切手
氏名
申込人住所

←
折り込む

※申込用封筒の裏側にも申込人の住所・氏名を記入すること。

(1) 専門試験

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作曲		<p>◎ 作曲専攻共通注意事項 (作曲、エクリチュール) 下記に定める作品等を平成28年1月22日(金)正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし、音楽教育又はソルフェージュの志願者で、作曲(エクリチュールは選択不可)により受験する者の提出期限は、平成27年8月17日(月)午後4時までとする。(郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと。ただし平成27年8月8日(土)から平成27年8月16日(日)までは本学の夏季休業のため、直接音楽学部教務係に提出することができないので注意すること。)</p>
	作曲	<p>[入試課題曲(提出作品)] 二管編成以上の管弦楽作品およびそれ以外のジャンル(演奏者1~10名まで、声楽を含むも可)の作品各1曲の楽譜を提出する。</p>
	エクリチュール	<p>1. [入試課題曲(提出作品)] 二管編成以上の管弦楽作品1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。(6時間) 3. ピアノによる数字付きバス、および旋律の和声付け試験 4. 総譜初見視奏</p> <p style="text-align: right;">(予見合計20分)</p>

●作曲専攻の試験日程について

本研究科(修士課程)入学試験において、作曲専攻の試験については、全ての試験を平成28年2月に行う。

詳細な日程は募集要項にて確認すること。

※作曲専攻願書提出期限は平成28年1月4日(月)から平成28年1月8日(金)まで。

●口述試問について

作曲研究分野及びエクリチュール研究分野において口述試問を課する。平成28年度以降、大学院音楽研究科(修士課程)作曲専攻の学位審査科目に新たに「修士論文」が加わる。そのため本口述試問において、修士論文のテーマと研究方法について質問を行うので、十分準備すること。

専攻	声 種	課 題 曲 等
声	ソ プ ラ ノ(S)	提出曲 提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1次試験：下記のA, B, Cより分野を1つ選択し、その中から任意の1曲を提出する。 第2次試験：第1次試験と同一分野から1曲(曲目は重複しないこと)、残る2つの分野から2曲ずつを提出する。 A：モーツァルト以降の作曲家(モーツァルトを含む)によるオペラ作品の独唱曲。(コンサート・アリアを含む) B：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C：歌曲 ※オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲分野についても原語とするが、移調は自由。(慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない)
	メゾソプラノ(Ms)	
楽	ア ル ト(A)	歌唱実技試験 第1次試験：第1次試験の演奏曲として提出した1曲(4分以内)を暗譜で演奏する。 第2次試験：第2次試験の演奏曲として提出した1曲と当日本学が記号(イ、ロ、ハ、ニ)で指定する2曲の計3曲を9分以内(曲間を含む)にまとめて暗譜で演奏する。(各曲、適宜カットしてよい)演奏曲順は自由。 ※第1次試験及び第2次試験ともに、演奏はピアノ伴奏とする。(志願者が伴奏者を同伴すること)
	テ ノ ー ル(T)	
	バ リ ト ン(Br)	
	バ ス(B)	
		新曲視唱(音大及び音楽関係学部・学科等の出身者を除く) ※上記出身者に該当するかどうか判断できない受験生は、事前に本学音楽学部教務係に問い合わせること。

●「オペラ研究分野」の募集停止について

平成28年度より、従来の「大学院音楽研究科(修士課程)声楽専攻オペラ研究分野」は「大学院音楽研究科(修士課程)オペラ専攻」に改組するため、平成28年度入学試験において、当該研究分野としての募集は行わない。

新設する「大学院音楽研究科(修士課程)オペラ専攻」に係る入学試験の内容については後日、本学ホームページ等で公表する。

当該専攻の入学試験に係る学生募集要項は、平成27年7月中旬配布予定である。

※この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得る。

※詳細は本冊子23ページ参照。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピ ア ノ (P f)	<p>下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	楽	オ ル ガ ン (O r g)

専攻	研究分野	課題曲等	
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">器</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">楽</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">オ</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">ル</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">ガ</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">ン</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">(</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">O</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">r</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">g</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">)</div> </div>	専攻実技試験で使用する奏楽堂オルガンの仕様	
	<u>Hauptwerk(I)</u> Principal 16’ Prästant 8’ Rohrflöte 8’ Octav 4’ Spitzpfeife 4’ Quint 3’ Superoctav 2’ Mixtur 6-10f. Scharf 5f. Cornet 5f. Trompete 16 Trompete 8’ Trompete 4’ Vox humana 8’ Tremulant Hw	Octav 4’ Rohrgedackt 4’ Violetta 4’ Nasat 2 2/3’ Flageolet 2’ Sesquialter 2f. Mixtur major 5f. Mixtur minor 4f. Fagott 16’ Trompete 8’ Trompete 4 Oboe 8’ Tremulant Sw <u>Brustwerk(III)</u> Portunal 8’ Bordun 8’ Prästant 4’ Blockflöte 4’ Traverso 4’ Waldpfeife 2’ Terzian 2f. Quintlein 1 1/2’ Scharf 4f. Krummhorn 8’ Regal 4’ Tremulant Bw <u>Mitteltönigwerk(I)</u> Coppel 8’ Spitzflöte 4’ Principal 2’ Quintflöte 1 1/3’ Regal 16’ Trichterregal 8’ Schalmey 4’ Baß 8’ (<i>Pedal</i>) Tremulant Mw	<u>Pedalwerk</u> Bordun 32’ Prästant 16’ Subbaß 16’ Octavbaß 8’ Gedackt 8’ Principal 4’ Nachthorn 4’ Mixtur 6f. Posaunenbaß 32’ Posaunenbaß 16’ Trompete 8’ Trompete 4’ Cornet 2’ Tremulant Pw Bw(Sw)/Kw Bw(Sw)/Hw Kw/Hw Bw(Sw)/Pw Kw/Pw Hw(Mw)/Pw Hw ↔ Mw Bw ↔ Sw Nachtigall Assist. II / I - III / I Seq. - / + Zimbelstern Wind Hw Wind Kw Wind Bw Wind Sw Sw-Speichern
	<u>Kleinwerk(II)</u> Gedackt 8’ Salizional 8’ Quintatön 8’ Prästant 4’ Rohrflöte 4’ Nasat 3’ Terz 1 3/5’ Superoctav 2’ Siffle 1 1/3’ Mixtur 5f. Fagott 16’ Dulcian 8’ Schalmey 4’ Tremulant Kw <u>Schwellwerk(III)</u> Nachthorn 16’ Principal 8’ Hohlflöte 8’ Unda maris 8’ Viola da Gamba 8’		

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	弦 楽	<p>◎ 弦楽器共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
		<p>ヴァイオリン (Vn)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L.v.Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J.Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F.Mendelssohn : Concerto E minor Op.64</p>
		<p>ヴィオラ (Va)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suite No.5 C minor BWV1011(全曲) 2. 次の中から任意の1曲 (1) B.Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シエルイ版、改訂版どちらでも可) (2) W.Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)</p>
		<p>チェロ (Vc)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6 より1曲を選び、 Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J.Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章、カデンツァを含む) (2) A.Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R.Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E.Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D.Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)</p>
		<p>コントラバス (Cb)</p> <p>1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次の中から任意の1曲 (全楽章) (1) K.D.Dittersdorf : Concerto E major (2) J.B.Vanhal : Concerto D major (3) G.Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G.Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S.Koussevitzky : Concerto F sharp minor</p>
		<p>ハープ (Hp)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (1) C.P.E.Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章、何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G.F.Händel : Concerto (全楽章、何版でも可。繰り返しは無しとする。) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
器	管	◎ 管打楽器共通注意事項 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○受験者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。	
		木	フルート (F l) 1. 課題曲 下記の a) ~ d) より任意の 1 曲を選択し演奏すること。 (カデンツァを含む) a) W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W.A.Mozart : Konzert D-Dur K.314 c) A.Jolivet : Concerto pour Flûte d) 尾高尚忠 : フルード協奏曲 Op. 30B 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を 1 曲演奏すること。
			オーボエ (O b) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314 より第 1, 2 楽章 2. 自由選択曲 a) ~ e) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。 a) E.Carter : Inner Song (Boosey&Hawkes) b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第 1 曲と第 5 曲 (Boosey&Hawkes) c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott) d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より 第 1 曲と第 6 曲 (Edition du Hautbois) e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote&Bock)
			クラリネット (C l) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622 より 第 1, 2 楽章 2. 自由曲 (任意による 1 曲)
			ファゴット (F g) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による 1 曲)
			サクソフォーン (S x) 1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による 1 曲)
		金	ホルン (H r) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より 第 1 楽章 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。 a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70
			トランペット (T p) 1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第 1 楽章 (カデンツァを含む) 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。 a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第 1, 2 楽章 b) G.Ph.Telemann : Concerto in D 第 1 曲 (Adagio) と第 4 曲 (Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章
			トロンボーン (T b) テナートロンボーン 1. 課題曲 F.Martin : Ballade (Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。 2. 自由曲なし バストロンボーン 1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による 1 曲)
			チューバ (T u) 1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio Eugène Bozza : Concertino pour Tuba en Ut ou Saxhorn Basse en Si bémol et Orchestre ou Piano (Alphonse Leduc) 2. 自由曲なし
		打楽器 (P c) 1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による 1 曲)	

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 内 楽	室 内 楽	<p>◎ 室内楽共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。 ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
		<p>弦楽四重奏</p> <p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲、Mozart 全曲、Beethoven : Op.18 の1-6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59 の1, 2, 3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)</p>
		<p>三重奏 ピアノとヴァイオリンとチェロ</p> <p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲、Mozart 全曲、Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Faure, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)</p>
		<p>I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。</p> <p>① ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群 Mozart : Sonate für Klavier und Violine B-dur KV454 Sonate für Klavier und Violine A-dur KV526 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) Schubert : Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.162 D574 B群 Stravinsky : Duo concertante pour violon et piano Prokofiev : Sonate Nr.1 für Violine und Klavier Op.80 Bartók : Violinsonata No.1 Violinsonata No.2 Ravel : Sonate pour violon et piano (3楽章形式) Webern : 4 Stücke für Violine und Klavier Op.7 C群 A, B群の作曲家以外のヴァイオリンとピアノのための二重奏作品。</p> <p>② ヴィオラとピアノの二重奏 A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Marchenbilder Op.113 B群 Bowen : Sonate für Viola und Klavier No.1 Op.18 R.Clarke : Sonate für Viola und Klavier Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonate für Viola und Klavier Op.147 C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課題曲等
器 楽	室 内 楽	<p>③ チェロとピアノの二重奏</p> <p>A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲)</p> <p>B群 Shostakovich : Sonate für Violoncello und Klavier d-moll Op.40</p> <p>Prokofiev : Sonate für Violoncello und Klavier Op.119</p> <p>Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117</p> <p>Britten : Sonata for cello and piano Op.65</p> <p>Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品。</p> <p>II 個人で受験する場合</p> <p>各楽器とも下記の1. 2. 3. を演奏する。</p> <p>1. の課題は暗譜とする。</p> <p>① ピアノ</p> <p>1. 下記 a) および b) の2曲</p> <p>a) L.v.Beethoven : Klaviersonate Nr.2 Op.2-2 A-dur, Klaviersonate Nr.7 Op.10-3 D-dur, よりいずれか1曲 (全楽章)</p> <p>b) F.Chopin : Etude Op.10, Op.25 から任意の1曲 (但し Op.10-3, 6, Op.25-7 を除く)</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p> <p>② ヴァイオリン</p> <p>1. 次のの中から任意の1曲 (全曲)</p> <p>J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p> <p>③ ヴィオラ</p> <p>1. Reger : 3 Suiten für Viola Op.131d より、組曲第3番の第1楽章</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p> <p>④ チェロ</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suiten の中から任意のプレリュード1曲</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p>

専攻	研究分野等	課題曲等
器 楽	室内 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonate für Flöte und Klavier Op.94 D-Dur 3. Isang Yun : "Garak" for flute and piano (個人での受験は認めない)
	内 木管五重奏	グループ受験の課題曲は下記のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 A群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 Paul Taffanel : Quintette à vent en sol mineur B群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jacques Ibert : Trois Pièces Brèves Darius Milhaud : La Cheminée du Roi René Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野等	課題曲等
器 古	<p>《注意事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 鍵盤楽器以外の受験者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック声楽受験者が必要なオブリガート楽器は、チェンバロで代用すること。 チェンバロ専攻、バロックオルガン専攻、バロックチェロ専攻の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 すべて課題曲の演奏順は自由とする。 演奏する作品の楽譜すべてをA4判でコピーし演奏順に重ね、左上1か所をホチキスで留めたものを4部作成し、出願と共に本学音楽学部教務係宛に提出すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。 ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、 <ol style="list-style-type: none"> a'=415のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8"4' ヤング第2調律）と、 a'=415のイタリアンタイプ（音域 C-d''', 8'8" ミーントーン調律）である。 なお、伴奏のために a'=440のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8"4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g'''）である。 バロックオルガン専攻の受験者については、下記の点に留意すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスプレイポジションについては、オルガン科の項（6頁）を参照のこと。 	
	<p>楽 バロック声楽 (BV o)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 次の3つのグループから作品を選んで、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（《共通の注意事項》参照）のみとする。基準ピッチの選択は採点に影響しない。] 1) G. Caccini または G. Frescobaldi または C. Monteverdi の独唱曲。 2) J. S. Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ。 3) 上記1) 2) 以外の作曲家による1800年までの独唱曲2曲。 (オラトリオ、カンタータなどレチタティーヴォとアリアを別の楽章としてカウントするものはそれぞれ1曲と数える)。 [プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチターールカンタンド様式の作品）が1つは含まれていること。] 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）
楽	<p>バロック ヴァイオリン (BV n)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 次の3つのグループからそれぞれ作品を選んで演奏する。 ① J. S. Bach : 無伴奏ソナタ&パルティータ BWV 1001～1006からソナタまたはパルティータを1曲選び、その中から楽章を2つ演奏する。 ②次のイ) またはロ) またはハ) から1曲 イ) D. Castello, G. B. Fontana, B. Marini 又は同時代のイタリアの作曲家の作品。 ロ) A. Corelli : 『ヴァイオリン・ソナタ集』作品5 (1700) のソナタ第1番～第6番のうち1曲 (緩徐楽章には自作の装飾をつけること)。 ハ) H. I. von Biber : 『ヴァイオリン・ソナタ集』(1681) の中から1曲 ③次のニ) またはホ) から1曲 ニ) J. M. Leclair : “Quatrième livre de sonates” Oeuvre 9 (1743) ホ) F. Couperin : “Concerts Royaux” (1722) 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	古 バロック チェロ (B V c)	<p>1. 次の①～③を演奏する。 ①当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。テンポは自由、1弓6音または8音、短調は和声的短音階とする。最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。 ② F. Geminiani : Sonata in a, op. 5-6 ③ J. S. Bach : Suite a violoncello solo senza basso No. 2～4から選択した1つの組曲のPrélude, Allemande, Courante (Allemande と Courante の繰り返しは省く)</p> <p>2. アンサンブル課題 : ④ G. F. Handel : Sonate e-moll für Flauto Traverso und Basso Continuo (Hallenser Sonate No. 2, HWV 375) の第1、第2楽章を、本学の用意したソロ奏者と、受験生の同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分) [楽器と弓のスタイル(モダン仕様かバロック仕様かなど)は問わないが、ガット弦を使用すること。基準ピッチはa'=415とする。②に関してはチェンバロの通奏低音奏者を同伴すること。版はPeters版またはS. P. E. S (1746年デン・ハーグの版)、③はベーレンライター(2000年出版)、ブライトコップフ(2000年)、東京書籍(2009年)のいずれか、④はベーレンライター版の現代譜、もしくはS. P. E. S等のファクシミリ版を使用すること。]</p>
	楽 リコーダー (R e c)	<p>1. 次の各作品を演奏する。 1) A. Virgiliano : "IL DOLCIMELO" より任意のリチェルカーター曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ、移調は自由。] 2) J. -M. Hotteterre : Suite 4 (Oeuvre Second 1715) 全楽章 [バロックタイプのトレブルを使用し、ト短調に移調して演奏。ピッチはa'=415] 3) J. S. Bach : Partita イ短調 BWV 1013 より Allemande、Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏、ピッチは指定しない] 4) A. Vivaldi : 協奏曲 ハ長調 RV 444 全楽章 [バロックタイプのソプラニーノを使用。ピッチはa'=415]</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	チェンバロ (C e m b)	<p>1. 次の①～⑤を演奏する(繰り返しは省略のこと)。 ①次のA群、B群からそれぞれ作曲家を1人ずつ選び、その2人の作曲家の作品を組み合わせて10～12分のプログラムを組む。 A群 G. Frescobaldi、G. M. Trabaci B群 J. P. Sweelinck、W. Byrd、J. Bull ② L. Couperin または J. -H. d'Anglebert または L. Marchand の組曲を1つ選び、その中からPrélude, Allemande, Courante, Sarabande, Gigue (またはCanarie) を演奏する。 ③ J. S. Bach : Toccata in fis, BWV 910 ④ J. J. Froberger : Tombeau fait à Paris sur la mort de Monsieur Blancheroche ⑤ A. Forqueray : "Pièce de viole mises en pièces de clavecin" から1曲(4分以内)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	古	<p>バロックオルガン (B O r g)</p> <p>1. 次の①～⑥の各作品を演奏する。 ① G. Frescobaldi : Aria detto Balletto (※ Mitteltonigwerk を使用すること) ② J. P. Sweelinck : Hexachord Fantasia ③ N. de Grigny : Pange lingua (全3楽章) ④ D. Buxtehude : Es spricht der unweisen Mund wohl, BuxWV 187 ⑤ J. S. Bach : Präludium und Fuge in D, BWV 532 ⑥ J. S. Bach : Allein Gott in der Höhe sei Ehr, BWV 676</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>
	楽	<p>フォルテピアノ (F P)</p> <p>1. 次の各作品 (計3曲) を演奏する。 ① C. Ph. E. Bach : Fantasia A-dur Wq. 58/7 H. 278 (Clavier-Sonaten und freye Fantasien nebst einigen Rondos für Kenner und Liebhaber Vol. 4 Leipzig 1783 Wq. 58より) ② 次のどちらか任意の1曲 イ) W. A. Mozart : Klaviersonate B-dur K. 281 (繰り返しは省略) ロ) W. A. Mozart : Klaviersonate Es-dur K. 282 (繰り返しは省略) ③ L. v. Beethoven : Sechs Variationen F-dur Op. 34 (繰り返しは省略)</p> <p>2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F. Couperin : 『クラヴサン奏法 L' Art de toucher le clavecin』 から プレリュード第1番 ハ長調</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
指 揮	指 揮	<p>1. 指揮実技 (合奏による) (1) 総譜初見指揮 (2) 課題曲…以下の課題より、当日指定された部分を指揮する。 J. Sibelius : Symphony No. 2 in D, Opus 43から第1楽章</p> <p>2. 指揮適性検査 (1) スコアリーディング (2) 聴音 (3) ピアノ以外の器楽実技 (自由曲・伴奏なし) (4) 音楽一般に関する試問</p> <p>3. ピアノ 課題曲…全曲の中から、当日指定された部分を演奏する。 L.v.Beethoven : Sonata for Piano in E-flat Major (No.18), Opus 31 No.3</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
邦	邦楽共通注意事項 ○受験者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。		
		三味線音楽	長唄三味線 「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		三味線音楽	常磐津三味線 「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		三味線音楽	清元三味線 「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
		三味線音楽	長唄 「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		三味線音楽	常磐津 「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		三味線音楽	清元 「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
		(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の受験者は、各自使用する楽器を持参する。	
	箏	山田流 箏・箏歌 「桜狩」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那須野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際に、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。	
	曲	生田流 箏 「夜々の星」(光崎検校 作曲) 「中空砧」(宮城道雄 作曲) 三絃 「今小町」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 三絃は各自持参の楽器を使用する。	
楽	尺 八 琴古流による受験者…… 1. 「真虚霊」(初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「秋田菅垣」(同上) 都山流による受験者…… 1. 「岩清水」(流祖中尾都山作曲) 2. 「寒月」(同上) 3. 「懐月調」(同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 共通曲…………… 1. 「松風」(中能島松聲・山木大賀作曲) 2. 「御山獅子」(菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は竹友社発行譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。		

専攻	研究分野	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞 「花筐クルイ」 下掛宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞 「春栄」 和泉流による受験者……小謡独吟「名取川」及び小舞 「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……「楽」または「神楽」 (ロ) 小鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ハ) 大鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ニ) 太鼓……「楽」または「神楽」 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上 提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の 楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲）（笛） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1）3以外は暗譜で演奏すること。 2）1，2の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 3）楽器は各自持参すること。
	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 注1）録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、 長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎 による演奏を使用する。 2）両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

※日本舞踊の使用音源について

指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間 各自の専攻テーマについて論じる。</p> <p>2. 音楽学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。</p> <p>3. 口述試問</p>
	音 楽 教 育	<p>1. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。 また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1曲 (全楽章) 及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲 3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>
	ソルフェージュ	<p>1. ソルフェージュ試験</p> <p>(1) ソルフェージュ実技試験</p> <p>a. ピアノによる聴音書取 (単旋律、複旋律、四声体和声)</p> <p>b. 各種音部記号 (ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号) による初見唱</p> <p>c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、邦楽の各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」とする。</p> <p>d. 和声課題 (「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除) バスおよびソプラノ課題による四声体和声。</p> <p>(2) ピアノ実技試験 (「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除) 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏する。一部を指定して演奏させることもある。</p> <p>2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分</p> <p>3. 口述試問</p> <p>4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。 また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1曲 (全楽章) 及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲 3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>

【予告】

※平成29年度入試よりソルフェージュ研究分野の作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課せられている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課せられている「音楽学の筆記試験」の別を廃止し、ソルフェージュ研究分野受験者全員「ピアノ受験者の課題曲」の試験内容に変更とする。従ってピアノ以外の楽器等では受験できないので注意すること。(1) (2) ピアノ実技試験は削除となる。)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音楽文化学	音楽文芸	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間 2. 小論文 試験時間：2時間 3. 口述試問</p> <p>口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、 (1) 音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2) 修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>
	音楽音響創造	<p>1. 聴覚試験 (1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。 (2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。 (3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。</p> <p>2. 記述試験 (1) 音楽に関する記述問題(楽典、楽器、人物などについての設問) (2) 音響に関する記述問題(用語、音響学の基本事項についての設問)</p> <p>※試験時間は、「聴覚試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試問 主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に (A)「研究計画書」及び (B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品 (または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A)「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>(B)「作品あるいは論考」について 下記 (1)、(2)、(3) のいずれかを提出すること。 (返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合は CD-R、DVD-R、Blu-ray で、映像をとまなう場合は DVD-R、Blu-ray で提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

●「応用音楽学研究分野」及び「芸術環境創造研究分野」の募集停止について

平成28年度より、従来の大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻「応用音楽学研究分野」及び大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻「芸術環境創造研究分野」は、「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に改組するため、平成28年度入学試験において、両研究分野の募集は行わない。

新設する「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に係る入学試験の出願にあたっては、平成27年9月上旬配布予定の当該入学試験に係る学生募集要項等を確認すること。

※この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得る。

※詳細は本冊子23ページ参照。

(2) 音楽に関する基礎能力検査

① 「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の受験者には、以下の通り「基礎能力検査」を課する。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
作曲 声楽 ピアノ 打楽器 弦楽 管打楽 室内楽 古楽 指揮		実施しない
三 味 線 音 楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞、五世岸沢式佐作曲）
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞、川口直作曲）
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞、五世岸沢式佐作曲）
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞、川口直作曲）
箏 曲	山田流	「口述試問」（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）
	生田流	「箏曲音楽理論」 （楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い、調絃、楽譜、演奏法、唱歌、歌唱法など歴史を除く生田流箏曲全般にわたるものの中から出題される。）
尺八		「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
能楽		「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
能楽囃子		専攻以外の四拍子より1楽器・謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
邦楽囃子		専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
日本舞踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 2. 常磐津三味線：「松島」（河竹黙阿弥作詞、六代目岸沢式佐作曲） 3. 清元三味線：「四君子」（鎌田徳之助作詞、二世清元梅吉作曲） 4. 長唄：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 5. 常磐津：「松島」（河竹黙阿弥作詞、六代目岸沢式佐作曲） 6. 清元：「四君子」（鎌田徳之助作詞、二世清元梅吉作曲） 7. 邦楽囃子（四拍子より1楽器を選択）：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ、聴音、初見唱、楽典
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない
音楽教育	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	ピアノ（ピアノ受験者を除く）、聴音、初見唱、楽典（作曲専攻除く）
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表、三味線音楽、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
ソルフェージュ	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	実施しない
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表、三味線音楽、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
音楽文芸		実施しない
音楽音響創造		実施しない

②基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試験内容
ピアノ	ハイドン、またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し、任意の楽章を演奏する。 (注) 1) 繰り返しは除く。 2) 楽譜を見ても良い。 3) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴音	22ページ例題の程度
初見唱	22ページ例題の程度
楽典	試験時間1時間

平成27年6月4日（木）より配布している「平成28年度 東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験 課題曲及び試験内容」（本冊子）の一部に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

P.20（2）音楽に関する基礎能力検査 ①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容 三味線音楽 清元三味線・清元

(誤) 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞、川口直作曲）



(正) 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞、川口直作曲）

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例題

● 聴音書き取り

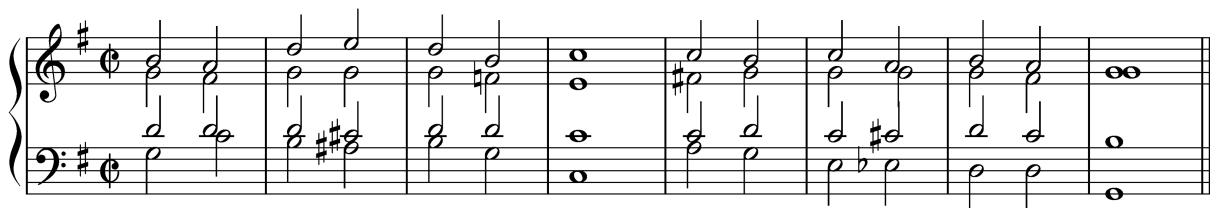
1) 単旋律



2) 複旋律

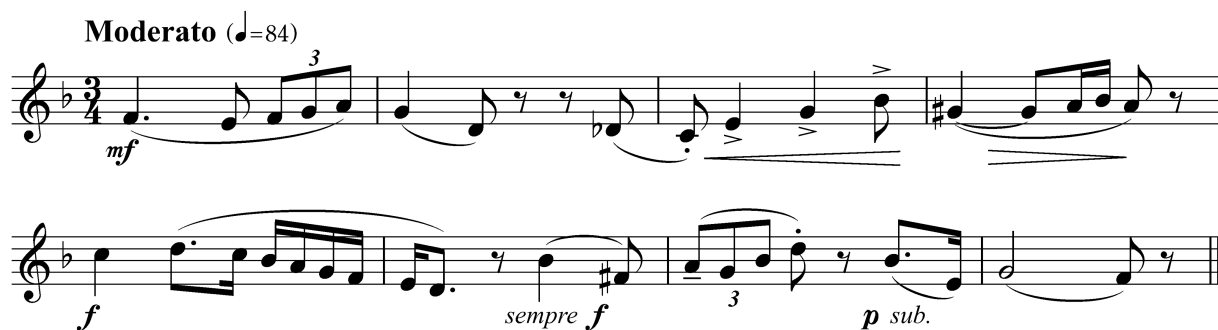


3) 四声体和声



● 初見唱

Moderato (♩=84)



○平成 28 年度からの教育研究組織の変更について

東京藝術大学では、平成 28 年度からグローバル人材育成機能の強化を図る観点から、下記のとおり、教育研究組織整備を計画しています。これらの計画については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査をもって確定するものですが、**平成 28 年度（平成 27 年度実施）の入学選抜は、設置後の入学定員（募集人員）等により実施します。**

なお、新設する「大学院音楽研究科オペラ専攻（修士課程）」及び「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に係る入学試験の出願にあたっては、今後公表する当該入学試験の学生募集要項等をご確認（オペラ専攻の募集要項は 7 月中旬、アートプロデュース専攻の募集要項は 9 月上旬に配布予定）願います。

※ ここに記載している設置計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得ます。

1 設置計画及び入学定員の変更

【設置前（平成 27 年度）】

○大学院音楽研究科（修士課程）	
声楽専攻	<u>20 人</u>
音楽文化学専攻	<u>35 人</u>



【設置後（平成 28 年度）】

○大学院音楽研究科（修士課程）	
声楽専攻	<u>12 人（8 人減）</u>
音楽文化学専攻	<u>29 人（6 人減）</u>
オペラ専攻	<u>8 人（新設）</u>
○大学院国際芸術創造研究科（修士課程）	
アートプロデュース専攻	<u>10 人（新設）</u>

（募集停止について）

上記の変更に伴い、大学院音楽研究科音楽文化学専攻応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野は大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻に、大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究分野は同研究科オペラ専攻に改組するため当該研究分野の募集は行いません。

2 「大学院音楽研究科オペラ専攻（修士課程）」の設置計画

（1）設置目的

国内はもとより、海外の主要なオペラ劇場やコンサートホール等においても第一線で活躍できる卓越したオペラ人材・舞台芸術家として、オペラ芸術に関する高度な専門的知識や技能を有するとともに、オペラ芸術を総合芸術として捉え、他領域との関係性等、横断的な知見も備えた先進的なオペラ芸術を創造できる人材の育成を目的としています。

（2）授与する学位

修士（音楽）

3 「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」の設置計画

(1) 設置目的

今日、芸術文化を取り巻く環境は、産業構造の変化やグローバル化、インターネットに代表される技術革新など社会の急激な変化に伴って大きく変容しつつあります。

今回構想する大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻は、この新しい変化に対応するために、専門領域によって分かれている芸術文化のさまざまな実践を横断的かつ有機的に結びつけながら、芸術と社会との新しい関係を提案する人材を育成することを目指しています。

具体的には、①国際美術展や各種地域アートプロジェクト、コンサートホールなどのマネジメントを担える人材。特に芸術文化に精通し、内容に関する企画を含むマネジメントができる人材、②芸術文化の形式の変化、芸術理論の枠組みのイノベーションに対応しつつ展覧会や芸術文化イベントのキュレーションを担当できる人材、③芸術と社会との関係を調査研究し、学術的な発信をグローバルに行なうとともに、アカデミズムだけではなく広く社会に対して芸術と文化の新しい関係の提言ができるリサーチ人材の育成を目指します。

(2) 授与する学位

修士（学術）